

平成22年9月1日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ナカバヤシ株式会社に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、ナカバヤシ株式会社（代表取締役社長：辻村 肇）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じた社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となったナカバヤシ株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握の状況」「環境保全対策の取組と成果の状況」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの評価となりました。

特に、①ライトダウンキャンペーンへの参加、オフィスを中心とした省エネ機器の導入、グリーン購入・調達推進の取組など、事業活動における環境負荷低減を積極的に行っている点や、②環境に配慮した製品の設計、販売、利用推進など、製品のライフサイクルを通じた環境配慮を促進している点、③環境に資する原材料調達を視野にいたした植林事業への参画や、機密文書を各種古紙再生品へリサイクルし、資源循環と文書機密保護の両立を実現する事などを目的としたパピルスネットワークを構築し、ユニークなサービスを提供している点などが高く評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価融資」により、環境配慮を進める企業の取り組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動をご支援して参ります。



写真①セタライトダウン時（2010.7.7）



写真②当社製品：フラットファイルJ



写真③パピルスネットワークのエコポリスパンと再生トイレトペーパー、ティッシュペーパー

以 上